

小栗栖中学校区小中一貫教育校 創設協議会だより

※小栗栖・小栗栖宮山・石田の3学区と中学校の地域・PTAの代表者・校長で組織する「小栗栖中学校区小中一貫教育校創設協議会」が発行しています。

“小栗栖中学校区小中一貫教育校創設協議会 発足” 醍醐地域初の小中一貫教育校の創設に向けた取組がスタートしました

昨年12月に「全国に誇るべき施設一体型小中一貫教育校の新設を求める統合要望書」を京都市教育委員会に提出したことを受け、これまでの創設検討協議会での議論を踏まえて、具体的な取組を進めるため、6月19日(金)、「小栗栖中学校区小中一貫教育校創設協議会」の第1回会議を開催しました。



今後、令和7年4月の開校に向け、現小栗栖小学校敷地に建設予定の新校舎の基本計画案策定や、令和4年4月の小栗栖小学校と石田小学校の一次統合（石田小学校敷地にて）の通学安全・校名をはじめ、教育内容や環境整備について、より具体的な検討を進めてまいりますので、御理解と御支援をお願いいたします。

◆創設協議会での議論の進め方について

創設協議会は、3学区と中学校の地域・PTAの代表者・校長など20名の委員と相談役1名で組織し、相談役は村井信夫 醍醐十校区自治町内会連絡協議会会長、代表は岩井義男 小栗栖宮山自治町内会連絡協議会会長、副代表は安部繁 小栗栖自治町内会連合会会長、松井憲二 石田学区検討委員会委員長、となりました。

本協議会で小中一貫教育校創設に向けた全体協議を行うほか、以下の部会を設置し、それぞれの課題について検討を重ねながら、「地元案」を取りまとめてまいります。

- ①【通学安全部会】子どもたちの通学安全の確保
- ②【校舎建設基本計画案策定部会】新校舎の基本計画案に、保護者・地域・学校の意見を反映
- ③【4校PTA代表者会】給食・標準服・PTA組織など保護者に関わりの深い課題
- ④【一次統合準備会】小栗栖小と石田小の一次統合に関わる課題
- ⑤【2校PTA代表者会】一次統合のうちPTA組織など保護者に関わりの深い課題

(裏面へ続きます)

ご意見やご質問などがありましたら、各学校までお寄せください。

■小栗栖小 TEL 571-7632 FAX 571-6404
e-mail ogurisu-s@edu.city.kyoto.jp

■小栗栖宮山小 TEL 572-5216 FAX 572-5217
e-mail miyayama-s@edu.city.kyoto.jp

■石田小 TEL 572-1411 FAX 572-1482
e-mail ishida-s@edu.city.kyoto.jp

■小栗栖中 TEL 572-3135 FAX 572-3165
e-mail ogurisu-c@edu.city.kyoto.jp

“新校舎の基本計画案策定に向けて第1回ワークショップを開催”

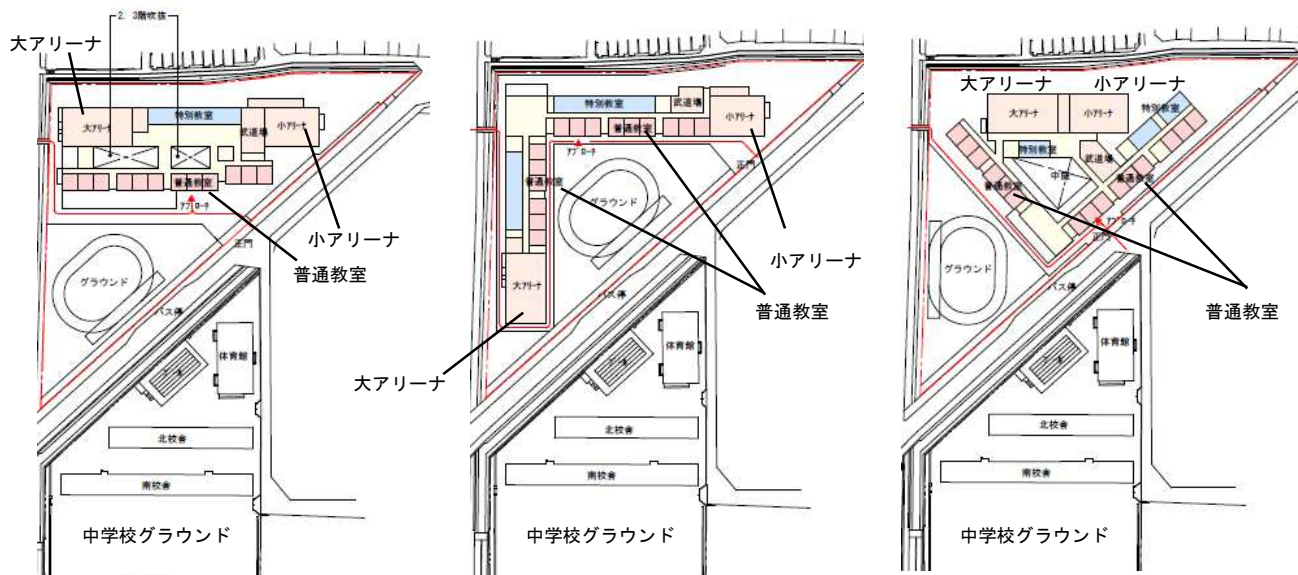
令和7年の小中一貫教育校創設にあたっては、小栗栖小学校敷地に9学年の子どもたちが共に学ぶ最新の校舎を建設する予定であり、これに向けて、今年度、京都市では新校舎整備基本計画の策定作業が進められます。

地域住民や保護者、学校教職員からの様々な意見を基本計画に活かすため、6月26日(金)に、小栗栖中学校において「校舎建設基本計画案策定部会」で第1回ワークショップを行い、各代表者でアイデアを出し合いました。ワークショップは9月末までに全3回行います。



◆校舎の配置案を検討

小栗栖小学校敷地に新校舎を建て、小栗栖中学校敷地もグラウンドを中心に一体利用するという条件を踏まえ、設計事務所が提案する3つの配置案について検討しました。



	A案 東西軸配置	B案 L型配置	C案 三角形配置
特徴	<ul style="list-style-type: none"> 普通教室が南面 通学動線が短い グラウンド日当たりよし アリーナへの動線が長い 1階が暗い 	<ul style="list-style-type: none"> 普通教室が一部東面 通学動線が長い グラウンド午後日に日影ができる アリーナへの動線が長い グラウンドが他よりも広い 	<ul style="list-style-type: none"> 普通教室が南面 通学動線が短い グラウンド日当たりよし アリーナへの動線が短い 中庭を中心とした回遊動線を確保

◆各班ともに「C案 三角形配置」案が良いという意見

設計事務所の説明を受けた後、4班に分かれて活発な議論を行い、班ごとに意見を発表しました。配置案については、各班とも、三角形の敷地を上手く活用し広い中庭がある「C案三角形配置」が良いという意見でした。次回のワークショップでは、今回の意見を踏まえ、教室配置や外観デザインなど、より具体的な検討が進められます。

【こんなご意見がありました】

- 敷地をつなぐ歩道橋の設置を。
- 低学年が安心して遊べるスペースを。
- 中学校敷地のグラウンドを広く使えるように。
- 登下校の安全確保を。
- 地域利用施設に出入りしやすいように。
- 水害時も避難所開設できるように。

